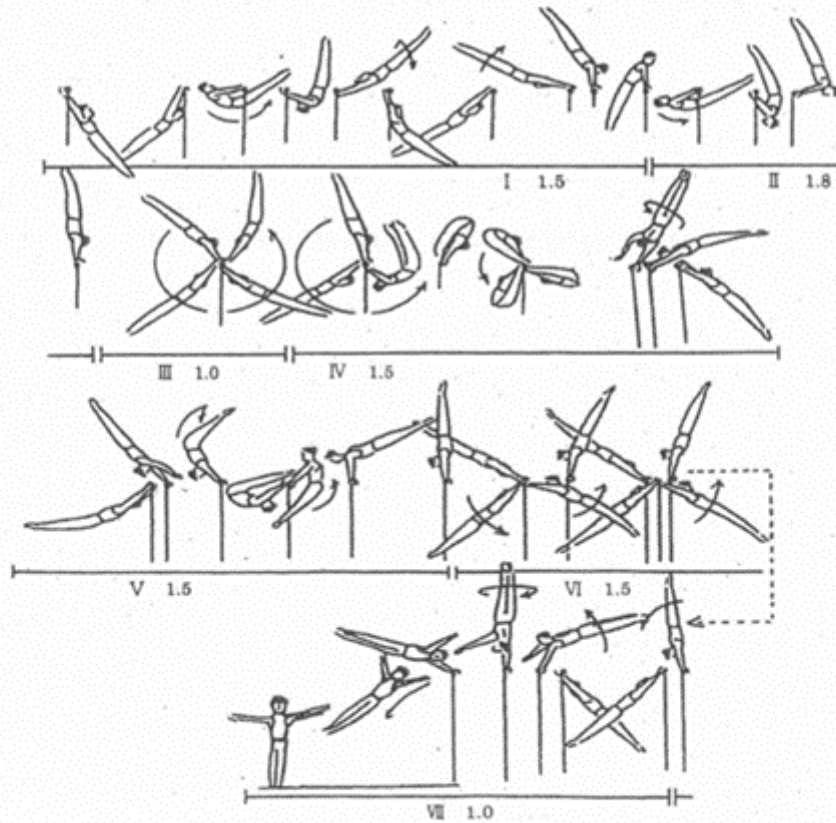


区分	配点	解 説 文	代表的欠点	減 点
I	1.5	順手懸垂→懸垂振り出し→後ろ振り上がり	・後ろ振り上がり支持が低い(30度以下)	1.0まで
II	1.8	後方浮き支持回転倒立	・肘がまがる ・後方浮き支持回転の大きさがない	0.5まで 1.0まで
III	1.0	順手後方車輪 1 回	・リズムと調和に欠ける ・順手車輪の大きさがない	0.3まで 0.5まで
IV	1.5	順手懸垂前振り→後方開脚足裏支持→前振り出し 1/2 ひねり片逆手	・リズムと調和に欠ける ・足裏支持で膝がまがる ・振り出しひねりが低い	0.3まで 0.5まで 0.3まで
V	1.5	片逆手懸垂前振り→逆手持ち換え→両逆手け上がり→振り上げ倒立	・逆手持ち換えが低い ・け上がりで肘がまがる ・け上がりからの振り上げが低い ・リズムと調和に欠ける	0.3まで 0.3まで 0.5まで 0.3まで
VI	1.5	逆手前方車輪 2 回	・リズムと調和に欠ける ・逆手車輪の大きさがない	0.3まで 0.5まで
VII	1.0	逆手懸垂後ろ振り上がり→1/4 ひねり下り(鉄棒を横にして着地)	・リズムと調和に欠ける ・後ろ振り上がりひねりでひねりが遅い	0.3まで 0.5まで
	9.8			





【事故発生時（回転を続け、手が滑って飛び出した）】